

テーマ：指導サービスの次のステージへ！ 実践講座②【講演】11:40～12:40（60分間）

利用者はなぜ論文検索ができないのか —躓かせないための4つの指導ポイント—

仁上幸治（早稲田大学図書館）

●概要

「情報検索指導における良い例題・悪い例題（初級編）」（2006年3月）に続き、好評だった中級編（2006年11月）の内容の中から、利用者が論文検索で躓く点、データベース講習会の内容、図書館の説明が分かりにくい理由、に関する理論部分を再構成し、検索効率向上のための指導上の要点を提示します。

【0】はじめに

- 1) 盲導犬訓練
- 2) 上達の法則

【1】検索失敗の現状

- 1) ILL 申込書における差戻し統計
- 2) 失敗学
- 3) ハインリッヒの法則

【2】利用者はなぜ検索ができないか

- 1) 本人の理由
 - ・知識・技能
 - ・動機
 - ・態度
- 2) 教員側の理由
 - ・シラバス
 - ・課題
- 3) システム側の理由
 - ・コンテンツ問題
 - ・インターフェイス問題
- 4) 図書館側の理由
 - ・「わかりにくい」問題
 - ・説明技能問題
- 5) 情報リテラシー教育
 - ・オリエンテーション
 - ・講習会
 - ・授業

- ・自習支援装置(サブジェクトゲートウェイ、パスファインダ、eラーニング、等)

【3】利用者プロフィールの転換

1) データ項目

- ・知識・技能
- ・動機
- ・態度

2) 今後の研究課題

- ・差戻統計の定量分析
- ・差戻事例の定性分析
- ・フォーカスグループインタビュー等

【4】システム改善

1) 情報源自体の利用者本位の改善

2) 利用者の情報リテラシー不足を補うようなナビゲーションの実装

3) システムの不備を高度なインターフェイスの実現

【5】4つの指導ポイント

1) 便利で誘う／損得で脅す

2) 利用者の動機を疑う

3) 課題自体を疑う

4) システムを疑う

■配布資料

1. 初級編
2. 中級編
3. 応用編
4. 参考文献
5. 参考サイト
6. 講師紹介(最近の活動から)

■別紙

- ◎1: 仁上幸治・「図書館利用者プロフィールの再検討ー情報探索支援システム設計のための概念モデルー」『日本図書館情報学会春季研究集会発表要綱』日本図書館情報学会、2007.3.31(大阪市立大学梅田サテライト), pp.23-26.(修正差替版)
- ◎2: 『情報の達人』パンフレット、2007.2.28.

1. 初級編

《初級編の案内》

図書館による情報検索の講習会や授業の中で、わかりやすい説明をするには適切な例題が必要である。しかし、いざ実際に例題を作るとなるとそう簡単ではない。インターネットの検索エンジンで検索できる範囲、無料サイトと有料データベースの差、書誌検索と所蔵検索の違い、検索ツールの種類、電子化以前と以後、などの基礎知識を理解してもらうにはどんな例題が良いのか。どのサイトでどんな検索語と検索式を見せるのが適切か。今回は、これから講習会を始めたい方、改善したい方向けに、良い例題・悪い例題の実例を紹介し、素材の集め方からプレゼンテーションまで、実践上のポイントを提示する。

(1) 第1回：フライデーナイトセミナー第5回「情報検索指導における良い例題・悪い例題ー素材を集め問題を作り要点を説明する方法ー」2005.5.27、日本図書館協会

このセミナーには、大学、公共、学校、専門図書館の職員など計106名が参加しました。セミナー後のアンケートでは、「セミナーに参加して良かった」という回答が全体の87.6%を占めました。自由記述欄には、「目からウロコ」「眠くならないセミナーは初めて」「楽しくて元気が出た」「プレゼンの勉強にもなった」「2時間では短かすぎ」「次回は専門分野の各論を」「実習形式でやってほしい」などの意見が寄せられました。

(2) 第2回：図書館利用教育実践セミナー第6回「情報検索指導における良い例題・悪い例題《初級編》～素材を集め問題を作り要点を説明する方法～」2006年3月18日(土) キャンパスプラザ京都

アンケート結果:「セミナーに参加して「大変良かった」という回答が全体の79%、「良かった」が20%、合計99%。「目からウロコ」「本当に来てよかった!!!」「これほど充実しているとは!」「とても楽しく密度が濃い」「最近参加したセミナーで最も有用な内容」「魅せられた」「視覚」の大切さを実感」「テンポが良くて楽しい」「知りたいことを次々に答えてもらった」「もとは取れた!」「中上級編もぜひ」「もっと関西で開催を」など。(『図書館雑誌』2005年7月号 p.422-423 を参照)

(1) 表1. 例題の良し悪しの比較対照

#	項目	悪い例題	良い例題
1	間違った自信	放置する	打ち砕く
2	学習意欲	低下させる	向上させる
3	紙版の扱い	根拠なく優先	守備範囲を明確に
4	電子版の扱い	便利さが曖昧	圧倒的な便利さを実感
5	提示方法	文字ばかり	映像・画像
6	データベースの紹介	便利さより面倒くささ	プリント版では不可能な利便性
7	ヒットするかしないか	すぐ「ない」と結論する	「必ずあるはず」という信念
8	検索語と検索式	思いついたものだけ	あれこれ工夫する
9	システムの不備	弱点として説明	乗り越える迂回路を提示
10	有力サイト	暗記を強要	たどり着き方を教える
11	正解の提示	一例だけ	複数の可能性も

12	起点	検索エンジン一本槍	ポータルサイト
13	検索語の入力	愚直にフルにタイピング	限定力のある語でジャストミート
14	オンライン書店比較	特徴を文章で説明	特徴の出る検索例で
15	検索結果と次の検索	一話完結	連続ワザ
16	ヒットしなかった場合の説明	ヒットしない例題を探す	仮定で進める
17	フレーズ検索	一応の差がわかる程度	圧倒的な限定力を見せる
18	ショートカットキー	説明しない	検索の流れの中で便利さを見せる
19	メモ帳	説明しない	コピーで保存して文献リストを作る素材にする
20	日本語論文検索ツール	雑誌記事索引（書誌のみ）	CiNi（抄録・全文リンクつき）
21	NACIS-Webcat	簡単にヒットするタイトル	よくあるのに難しい略誌名から
22	ジェンダー視点	無自覚ぶりを露呈	しかるべき人にチェックを頼む
23	品位	受け狙いが下品	適度に上品
24	理論的根拠	経験主義と思いつき	利用者教育の理論
25	オリエンテーション	旧態依然のイメージ	斬新なイメージ
26	講習会	効果不明	効果抜群
27	プレゼンテーション	配付資料主体	スライドショー主体
28	スライド	配付資料をそのまま貼り付け	読みやすさ優先
29	指示語	「これ」の連発（どれ？）	「この〇〇ボタン」と指示
30	文字色	モノクロ（または使いすぎ）	適度にカラフル
31	文字列	ベタ打ち	《 》などの記号を多用
32	図書館員の専門性	怪しい印象	プロの印象

（２）例題改善のための13の提案

提案1: 映像・画像を活用する

見せる

提案2: 視線のコントロール

提案8: 浅い問題を深く味わう解説を

提案3: 解けない例題の活用

提案9: 身近な意外性のある問題に作り直す

提案4: 教科書の例題を作り直す

提案10: 自分が好きなテーマで例題を作る。

提案5: 電子情報源の便利さ訴求

提案11: オリエンテーションと講習会を変える

提案6: ポータルサイトを教えよう

提案12: ソースアプローチからプロセスアプローチに変提案

提案7: 使いにくさを逆手にとって使いやすい例を対比的に

提案13: プレゼンテーションを改善する

（３）例題は聞く人の気持ちで作る

1) 専門知識の噛み砕き力

2) わかりやすい説明の技術

- 3) 文字と画像の表現力
- 4) ビジュアル表現のセンス
- 5) 初心者の内面への想像力

(4) 今後の展望

- 1) 例題モニターネットワーク
- 2) 例題バンク
- 3) 図書館サービス計画研究所(トサケン)

2. 中級編

2006.11.22 図書館総合展(8)フォーラム講演会「情報検索指導における良い例題・悪い例題(中級編)ー専門分野別データベースの特徴を紹介する方法ー」パシフィコ横浜 ●指導サービス専門家に変身しよう!

日本図書館協会(企画・運営:図書館利用教育委員会)は、2006年11月22日、パシフィコ横浜で行われた第8回図書館総合展において、講演会を開催した。今回は、仁上幸治氏(早稲田大学図書館)を講師に迎え、「情報検索指導における良い例題・悪い例題(中級編)ー専門分野別データベースの特徴を紹介する方法ー」というテーマで講演が行われた。講演では、初級編の復習を行ったのち、利用者が検索できない理由、データベース講習会の内容、図書館の説明が分かりにくい理由、図書館員に求められる専門性について述べられた。このうち、図書館員に求められる専門性としては、要約力、表現力、説明力、指導力があると指摘された。最後に、情報リテラシー教育への貢献策として、①データベースのシステム改良、②授業科目と講習会との統合、③司書課程の改革、④研修の改善を提案された。講演後には、質疑応答が活発に行われた。講演会には、大学を中心とした各館種の図書館員や教員など161名が参加した。アンケートでは、講演会に参加して「大変良かった」という回答が42%、「良かった」という回答が43.5%で、良いという評価が85.5%に上った。講演の感想としては、「テンポが良くてわかりやすい」「楽しくてためになる」「時間をもっとあれば良い」「初級編の時よりも具体的な例題が少ない」などがよせられた。(春田和男:筑波大学大学院図書館情報メディア研究科博士後期課程)

【0】はじめに

- ・ ILL 申込書における差戻し統計
- ・ 盲導犬訓練の話
- ・ 上達の法則

- ・ 要約力
- ・ 表現力
- ・ 説明力
- ・ 指導力

【1】利用者はなぜ検索ができないか

- ・ 動機、知識・技能、態度
- ・ 失敗学
- ・ ハイインリッヒの法則?

【5】4つの提案ー情報リテラシー教育への貢献策

- ・ データベースのシステム改良
- ・ 授業科目と講習会との統合
- ・ 司書課程の改革
- ・ 研修の改善

【2】データベース講習会の現場から

- ・ 大学の講習会の実演記録映像
- ・ どの説明法を選ぶか?
- ・ データベース解説の大学別比較

* 中級編(続) または上級編の予告(仮題)

- ・ 先行研究の網羅的調査
- ・ 先端研究者の特定
- ・ 論文の影響力評価、他

【3】図書館の説明はなぜ分かりにくいのか?

- ・ 分かりにくさの原因
- ・ 分かりやすさの条件
- ・ 正確さ、情報量、理解力

* 初級編(続)(仮題) ★ワークショップ形式

- ・ 講習会の企画と準備
- ・ スライドショー作成実習
- ・ プレゼンテーションの演習と相互評価、他

【4】求められる専門性

3. 応用編

- ・2007.11.08-[講演]図書館総合展フォーラム講演会「情報検索指導における良い例題・悪い例題(応用編)ーデータベースの特徴をどう紹介するかー」(日本図書館協会主催), パシフィコ横浜 15:30-17:00 第5会場

参加者は大学図書館を中心として各館種の図書館員や教員が、173名集まり、盛況であった。アンケートの回答では、「大変良かった」が44%、「良かった」は43%で、良いという評価が87%に達した。また、自館の「改善策のヒントになったか」に対しては、74%が平均点以上の評価をしている。今後の希望では、シリーズで企画して欲しい、上級編も期待しているという要望に加えて、基礎編をもう一度聞きたいというものもあった。(戸田光昭:JLA 図書館利用教育委員会)

4. 参考文献一覧

●ガイドライン

- ・日本図書館協会利用教育委員会編『図書館利用支援ガイドラインー図書館における情報リテラシー支援サービスのために(合冊版)』日本図書館協会, 2001.8, 81p:¥1500
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』日本図書館協会, 2003.3.

●情報検索関係の教科書

- ・情報科学技術協会編『CD-ROM 版情報検索の演習』日外アソシエーツ, 1997
- ・高嶽裕樹『デジタル情報資源の検索 増訂版』京都大学図書館情報学研究会, 2007.4
- ・原田智子 他『情報検索演習』3訂, 樹村房, 2006. (新・図書館学シリーズ, 6)
- ・緑川信之『情報検索演習』新訂, 東京書籍, 2004.
- ・三輪眞木子『情報検索のスキルー未知の問題をどう解くか』中央公論社, 2003.9(中公新書 1714)
- ・毛利和弘『文献調査法ー調査・レポート・論文必携』第2版, 日本図書館協会発売 2006.

●インターネット

- ・野口悠紀雄『インターネット超活用法 2001』講談社, 2001, ¥1400.
- ・アリアドネ編『思考のためのインターネットー厳選サイト800』, 筑摩書房, 1999(ちくま新書)¥660
- ・二木麻里, 中山元著『書くためのデジタル技法』筑摩書房, 2001.11
- ・津野海太郎, 二木麻里編『徹底活用「オンライン読書」の挑戦』晶文社, 2000.8
- ・岡本真『これからホームページをつくる研究者のためにーウェブから学術情報を発信する実践ガイド (ACADEMIC RESOURCE GUIDE)』築地書館, 2006. ¥2,940.

●情報リテラシー教育

- ・慶應義塾大学日吉メディアセンター 編『情報リテラシー入門』慶應義塾大学出版会, 2002, ¥1,200(本体)
- ・学習技術研究会編著『知へのステップ: 大学生からのスタディ・スキルズ』くろしお出版, 2002.4(CD-ROM 付)
- ・北尾謙治[他]『広げる知の世界ー大学でのまなびのレッスン』ひつじ書房, 2005.5, ¥1,600
- ・伊藤民雄・実践女子大学図書館編『インターネットで文献探索 2007 年度版』日本図書館協会, 2007.

●論文作成

- ・中尾浩・伊藤直哉『Windows95 版人文系論文作法』夏目書房, 1998, ¥2857.
- ・山内志朗『ざりざり合格への論文マニュアル』平凡社, 2001.9
- ・澁谷恵宜『卒論応援団: はじめての「卒業論文」ラクラク基本マニュアル』クラブハウス, 2000.7
- ・戸田山和久『論文の教室ーレポートから卒論までー』NHK出版, 2002.11, (NHK ブックス 954) ¥1,120
- ・小笠原喜康『大学生のためのレポート・論文術』講談社, 2002.4(講談社現代新書, 1603)
- ・野口悠紀雄『「超」文章法ー伝えたいことをどう書くか』中央公論社, 2002.10(中公新書, 1662)

●プレゼンテーション

- ・石居進『理系のためのPowerPoint「超」入門ープレゼンテーションからホームページ作成まで』(ブルーボックスCD-ROM), 講談社, 2003, ¥1,995
- ・ブルボン小林『ぐつとくる題名』中央公論新社, 2006.9(中公新書)
- ・諏訪邦夫『発表の技法ー計画の立て方からパソコン利用法までー』講談社, 1995(ブルーボックス B-1099), ¥760.
- ・中川佳子『「情報を見せる」技術』光文社新書, 2003.7 ¥850.
- ・藤沢晃治『「分かりやすい表現」の技術ー意図を正しく伝えるための16のルール』講談社, 1999.3(ブルーボックス, B-1245)
- ・藤沢晃治『「分かりやすい説明」の技術ー最強のプレゼンテーション15のルール』講談社, 2002.10(ブルーボックス, B-1387)
- ・ボブ・ボイラン『プレゼンテーション成功の秘訣13』TBS ブリタニカ, 1993. ¥1300.
- ・藤沢晃治『「わかりやすい表現」の技術』講談社, 1999. ¥800. (講談社ブルーボックス B-1245)
- ・藤沢晃治『図解「伝える」技術ルール10ー話して伝える, 書いて伝える, 図表で伝える』講談社, 2006.10

・岩永嘉弘『一行力』草思社, 2004.4

●情報探索論

- ・岡澤和世「情報行動研究のコンテキスト」『JOURNAL OF LIBRARY AND INFORMATION SCIENCE』Vol.16, p27-52 (2002)
- ・岡澤和世「情報ニーズの評価の必要性和問題点:D.Nicholas の論文を中心に」『JOURNAL OF LIBRARY AND INFORMATION SCIENCE』Vol.12,p43-65(1998)
- ・北原俊一, 安達一寿「自習型Web教材および簡易学習支援システムの開発」, 『社会情報論叢(十文字学園女子大学研究紀要)』, Vol.7 2003, p1-10.
- ・河野浩之 [ほか]著『情報検索とエージェント:インターネットの知的情報技術』東京電機大学出版局, 2002.3
- ・中村幸雄『情報検索理論の基礎—批判と再検討』改訂増補版, 共立出版, 1998
- ・福永智子「講演 図書館利用教育研究における学習心理学的観点: クールソを中心に」『館灯』41, 2003, p.1-6.
- ・渡辺智山「情報探索過程を踏まえた検索システムの開発へ向けて—レファレンス・ブックを利用した探索過程の調査—」『情報の科学と技術』52(3), 107-115 (2002)
- ・D.A. ノーマン, 野島久雄訳『誰のためのデザイン?—認知科学者のデザイン原論—』新曜社, 3300 円
- ・R.S. ワーマン『それは「情報」ではない。』MdN,2001.
- ・R.S. ワーマン『理解の秘密—マジカル・インストラクション』NTT出版,1993.
- ・R.S. ワーマン『情報選択の時代』日本実業出版社,1990./『東京アクセス』伊藤忠ファッションシステム,1984.

●Google

- ・アスキー書籍編集部編『グーグル・エンターテイメント:遊んで使える Google サービス完全活用ガイド』アスキー, 2007.4
- ・阿部秀之『Google SketchUp パーフェクト. 入門編』エクスマレッジ, 2007.5
- ・清水隆夫 [ほか]『今すぐ使える Google サービス完全活用ガイド』技術評論社, 2007.1
- ・ジャン・ノエル・ジャンヌネー 著『Google との闘い:文化の多様性を守るために』岩波書店, 2007.11
- ・ラエル・ドーンフェスト, ポール・ボシュ, タラ・カリシェイン 『Google hacks:プロが使うテクニック&ツール 100 選』オライリー・ジャパン, 2007.4
- ・水野貴明『目的別 Google 活用テクニック』翔泳社, 2007.1

●調べ方

- ・井上真琴『図書館に訊け!』筑摩書店,2004.(ちくま新書) ¥777
- ・大串夏身『チャート式情報アクセスガイド』青弓社,2006. ¥1600.-
- ・田中共子『図書館へ行こう』岩波書店,2003.(岩波ジュニア新書) ¥777
- ・時実象一『理系のためのインターネット検索術:ホンモノ情報を素早くみつつける』講談社, 2005.2(ブルーバックス) ¥840
- ・時実象一, 小野寺夏生, 都築泉『情報検索の知識と技術—情報検索応用能力試験 2 級対応テキスト』情報科学技術協会. 2007.5, ¥2500.
- ・藤田節子『キーワード検索がわかる』筑摩書房 2007.10(ちくま新書) ¥756.

●パスファインダ

- ・愛知淑徳大学図書館インターネット情報資源担当編『パスファインダー・LCSH・メタデータの理解と実践:図書館員のための主題検索ツール作成ガイド』愛知淑徳大学図書館,発売:紀伊国屋書店,2005.2
- ・石狩管内高等学校図書館司書業務担当者研究会『パスファインダーを作ろう:情報を探す道しるべ』全国学校図書館協議会, 2005 (学校図書館入門シリーズ 12) 840 円
- ・鹿島みづき, 山口純代「図書館パスファインダーに見る次世代図書館の可能性」『情報の科学と技術』 52(10), 526-537 (2002)
- ・鹿島みづき, 山口純代「図書館パスファインダー—次世代図書館に生かせる古くて新しい図書館の技術」『館灯』42, 2003, p35-46.
- ・河上純子, 仲尾正司, 仁上幸治 他「パスファインダーバンクの実用化に向けて—Web 版共同利用ナビゲーションシステム開発計画案」(私立大学図書館協会東地区部会 館長会・研究講演会, 研究分科会報告大会記録 2001 年度『私立大学図書館協会会報』(通号 118) [2002.11])
- ・仲尾正司, 中村亜日香, 山田かおり, 他「パスファインダーバンク実用化とその経緯—Web 版共同利用ツールシステムを立ち上げて」『私立大学図書館協会会報』122, 2004.8, p147-151.
- ・仁上幸治「電子パスファインダをどう作るか—情報探索支援ツールの企画から公開まで—」『短期大学図書館研究』25, 2005.3, p.59-70.
- ・村田輝 他「教育情報案内パスファインダーによるレファレンスサービスの Web への展開—東京学芸大学附属図書館における教育情報ポータルサイト“E-TOPIA”」(国際学術コミュニケーション特集)『大学図書館研究』(67) [2003.3] p.37-49.

●講習会

- ・梅原由紀子「都立中央図書館の利用教育サービス—OPAC 検索講習会と図書館活用講座を実施して」(特集 図書館のホームページ) みんなの図書館. (通号 299) [2002.3] 56~65
- ・菅谷明子『未来をつくる図書館—ニューヨークからの報告—』岩波書店,2003.(新赤版 837)
- ・米澤 誠; 阪脇 孝子; 高橋 菜穂子「情報探索マニュアルの作成と職員向け講習会の実施:東北大学附属図書館での事例報告」大学図書館研究. (69) [2003.12] 34~41

●指導法

- ・岡本浩一『上達の法則—効率のよい努力を科学する』PHP 研究所, 2002.5 (PHP 新書) ¥714
- ・多和田悟『犬と話をつけるには—駄目な犬の困った飼い主にならないために』文藝春秋, 2006.6, (文春新書)

- ・中野民夫『ワークショップー新しい学びと創造の場ー』岩波書店、2003.04(岩波新書)
- ・畑村洋太郎『失敗学』事件簿ーあの失敗から何を学ぶか』小学館、2006.4、¥1300
- ・吉田新一郎『効果 10 倍の<教える>技術: 授業から企業研修まで』PHP研究所、2006(PHP新書)

●『情報の達人』の歴史

- ・仁上幸治『図書館の達人』から『情報の達人』へー利用者教育映像教材の進化 15 年の集大成』『図書館雑誌』101(4), 2007.4, pp.238-239.
- ・仁上幸治「情報リテラシー教育と新しい図書館員像ー『新・図書館の達人』から『図書館利用教育ガイドライン』まで」『館灯』41, 2003.3,p.39-52.
- ・日本図書館協会利用者教育臨時委員会「人・時間・予算の壁を破る利用者教育の強力ツール新登場」『図書館雑誌』1992.11,pp.798-799.
- ・日本図書館協会利用者教育臨時委員会「利用者教育ビデオシリーズへの熱い期待」『図書館雑誌』1993.8, 1993.8,pp.553-556.
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』日本図書館協会、2003.3
- ・『情報の達人』ホームページ: <http://www.kinokuniya.co.jp> (左メニュー下方に入口)

5. 参考サイト一覧

【1】情報探索 3大ポータルサイト

- 1)野口悠紀雄オンライン: <http://www.noguchi.co.jp/>
- 2)アリアドネ: <http://ariadne.ne.jp/>
- 3)実践女子大学図書館リンク集: <http://www.jissen.ac.jp/library/>

【2】Google 関連サイト

- 1)実験室: Google のプロトタイプ: <http://labs.google.com/>
- 2)soople: Google 専用コマンド不要の検索フォーム: <http://www.soople.com/>
換算電卓機能: http://www.soople.com/soople_intcalchome.php
- 3)Google Hacks: Google メニュー検索: <http://dicwizard.jp/jamming/search.php>
- 4)GAPS: Google API Proximity Search: 近接検索
<http://www.staggernation.com/cgi-bin/gaps.cgi>
- 5)Google 関連メーリングリスト
 - ・Google Friends: <http://www.google.com/contact/newsletter.html>
 - ・googlefun: <http://www.freeml.com/ctrl/html/JoinForm/googlefun@freeml.com>

【3】検索サイトの最新情報

- 1)SEM リサーチ: 検索エンジンの最新情報ポータルサイト
<http://www.sem-research.jp/sem/>
- 2)Search Engine Showdown: 検索エンジンの最新ニュースと比較データ
<http://searchengineshowdown.com>
- 3)検索エンジンの検索: 世界中の検索エンジンを探る検索エンジン
<http://www.searchenginecolossus.com/>
- 4)shikencho.com 検索の鉄人 関裕司氏の「検索テクニック」
<http://www.shikencho.com/iron/irontext.php>

【4】Google 以外の主要な検索サイト

- 1)AlltheWeb: <http://www.alltheweb.com/>
ノルウェーの Fast 社開発
- 2)AltaVista: <http://www.altavista.com/>
1995 年 12 月登場のロボット型検索エンジンの老舗。1999 年から画像検索の老舗。
- 3)AAA!Cafe: <http://aaacafe.ne.jp>
部分文字列検索が可能な「N グラム」方式

【5】パスファインダ

- ・私立大学図書館協会企画広報研究分科会パスファインダーバンク:
<http://www.jaspul.org/e-kenkyu/kikaku/pfb/>

- ・E-TOPIA(東京学芸大学附属図書館)教育系電子情報ナビゲーションシステム:

http://library.u-gakugei.ac.jp/etopia/index_p.html

- ・愛知淑徳大学図書館パスファインダー:

http://www2.aasa.ac.jp/org/lib/j/netresource_j/pf_j.html

- ・Dublin Core Metadata Initiative (DCMI): <http://dublincore.org/>

- ・統計データポータルサイト <http://portal.stat.go.jp/>

- ・情報科学技術協会: <http://www.infosta.or.jp/>

- ・電子政府の総合窓口: <http://www.e-gov.go.jp/>

【6】教材サイト

- ・TOSS インターネットランド: <http://www.tos-land.net/index2.php>

- ・世界の指導案: <http://jcultra.cc.osaka-kyoiku.ac.jp/LPIW/>

- ・教育情報ナショナルセンター: <http://www.nicer.go.jp/>

- ・EDUREF: <http://www.eduref.org/>

- ・Library Explorer: <http://explorer.lib.uiowa.edu/>

- ・Internet Public Library: <http://www.ipl.org/>

University of Michigan School of Information. >> Pathfinders

- ・WARP (Web Archiving Project): NDL インターネット資源選択的蓄積実験事業: <http://warp.ndl.go.jp/>

【7】講習会教材公開の先進事例

- ・愛知淑徳大学図書館: <http://www2.aasa.ac.jp/org/lib/>

- ・京都大学図書館<講習会><全学共通科目「情報探索入門」>:

<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/homejm.html>

- ・九州大学図書館<情報リテラシー学習支援>: <http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/index.html>

- ・東京大学図書館<ネットでアカデミック on Web>: <http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/>

- ・東京工業大学図書館<講習会案内>: <http://www.libra.titech.ac.jp/>

- ・東京学芸大学図書館<講習会情報>: <http://library.u-gakugei.ac.jp/>

- ・京都精華大学情報館<マルチメディア講演会>: <http://www.kyoto-seika.ac.jp/johokan/>

- ・東北大学図書館<情報探索の基礎知識>: <http://www.library.tohoku.ac.jp/>

- ・日本女子大学図書館<利用案内>[eラーニング]: <http://www.lib.jwu.ac.jp/>

- ・明治大学図書館<図書館活用法>: <http://www.lib.meiji.ac.jp/>

【8】教育用データベース提供

- ・データベース振興センター『情報の検索と活用』第2版, 2005.3. : <http://www.dpc.or.jp/>
授業・講習会用ソフトの複数貸与等のサービスあり。

【9】画像ネタの宝庫

- ・American Library Association: <http://www.ala.org/>

【10】使えるフリーソフト

- ・Google パック StarSuite: ワープロ、スプレッドシート、プレゼンテーション、その他: <http://www.google.com/>

- ・OpenOffice: プレゼンテーションソフト「Impress」を含む統合オフィスソフト Sun Microsystems Inc. : <http://www.openoffice.org/>

- ・PrimoPDF 日本語版: PDF 形式変換ソフト:

<http://www.xlsoft.com/jp/products/primopdf/index.html>

- ・データ便: ファイル無料転送サービス:

<http://www.datadeliver.net/>

- ・アンケート君: アンケート集計ソフト:

<http://www.vector.co.jp/soft/win95/business/se159548.html>

- ・富士通アクセシビリティ・アシスタンス: ウェブ診断ソフト:

<http://jp.fujitsu.com/about/design/ud/assistance/>

6. 講師紹介 (最近の活動から)

仁上幸治 (にかみ・こうじ): 早稲田大学図書館司書/東京家政大学・桜美林大学・亜細亜大学司書 講習非常勤講師

◎ホームページ: <http://www.dcn.s.ne.jp/~bbutler/nikami-home/> ◎電子メール: nikamikoji@yahoo.co.jp

◎図書館サービス計画研究所(略称「トサケン」)代表: <http://tosaken.blogspot.com/> ★ML 会員募集中!

◎論文・記事 (単著)

- ・「コンビニに負けない生涯学習支援サービスを！－市民の情報リテラシーと社会教育－」『月刊社会教育』2000.10, pp.22-27.
- ・「図書館マーケティングとプランニング・プロセス論－経営革新をめざす『実行可能な方法』の開発と導入－」『専門図書館』no.192, 2001.3, pp.8-18.
- ・「軽いソリと少しの勇氣－利用者満足度調査は自信と希望の証－」『図書館雑誌』2002.11, pp.872-875.
- ・「情報リテラシー教育と新しい図書館員像－『新・図書館の達人』から『図書館利用教育ガイドライン』まで」『館灯』41, 2003.3, p.39-52. (同誌ホームページ掲載)
- ・「司書課程の社会的評価の向上を目指す切り札－情報検索演習における「受講生による授業評価」の集計結果報告－」『法政大学教職資格課程年報』(法政大学キャリアデザイン学部紀要別冊)vol.1, 2003年度, 2004.3.30, pp.66-76.
- ・「これは危機ではない？－困った利用者よりずっと困った問題群－」『図書館雑誌』98(11)[2004.11], pp.838-841.
- ・「総本山の進まない構造改革－専門職崩壊のデフレスパイラル－」『大学の図書館』24(2), 2005.2. (特集大学図書館と日本図書館協会) pp.28-31.
- ・「オリエンはエンタメだ！－素敵な印象を伝えるプレゼンテーションを－」『学図研ニュース』No.229, 2005.3.1 (特集オリエンテーション) pp.2-5.
- ・「大学図書館員のためのオリエンテーション技法－印象づけを重視した構成・演出の改善の試み－」『医学図書館』52(1), 2005.3 (特集:情報リテラシー・サービス) pp.15-24.
- ・「学術情報リテラシー教育における広報イメージ戦略－司書職の専門性をどう訴求するか－」『情報の科学と技術』55(7), 2005.7. (特集:図書館の発信情報は効果的に伝わっているか?) pp.310-317.
- ・「電子パスファインダをどう作るか－情報探索支援ツールの企画から公開まで－」『短期大学図書館研究』25, 2006.3, pp.59-70.
- ・「図書館利用者プロフィールの再検討－情報探索支援システム設計のための概念モデル－」『日本図書館情報学会春季研究集会発表要綱』日本図書館情報学会, 2007.3.31 (大阪市立大学梅田サテライト), pp.23-26.
- ・「『図書館の達人』から『情報の達人』へ－利用者教育映像教材の進化 15年の集大成－」『図書館雑誌』101(4), 2007.4, pp.238-239.
- ・「デジタルリソースのフル活用へ向けて－講習会の刷新とオンデマンド教材の開発－」『館灯』46, 2008.3. (私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会研究会講演記録(2007.12.04,名古屋ガーデンパレス)[刊行予定])

◎単行書(共著)

- ・私立大学図書館協会東地区部会研究部企画広報研究分科会編『図書館広報実践ハンドブック－広報戦略の全面展開を目指して－』日本図書館協会発売, 2002.9
- ・戸田光昭[他]共著『改訂専門資料論』樹村房, 2002.10(新図書館学シリーズ第8巻)
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』日本図書館協会, 2003.3
- ・三浦逸雄, 野末俊比古(共編著)『専門資料論』日本図書館協会, 2005.6 (菅野育子, 高橋昇, 仁上幸治共著)(JLA図書館情報学テキストシリーズ, 8)[シリーズ第2期8, 2008.1.31]

◎教材ツール開発 (企画・監修)

- ・私立大学図書館協会企画広報研究分科会: 共同制作ポスター・葉・掲示用紙・ブックカバー, 1984-
- ・日本図書館協会: 「コニーちゃん」ポスター・葉・掲示用紙, 1998-99.
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会: 「りてらしい」グッズ(T シャツ, トレーナ, キャップ, バッグ, エプロン, ブックカバー)2002-
- ・ライブラリービデオシリーズ『図書館の達人』全6巻, 紀伊国屋書店, 1992.10, 1993.7.
- ・ライブラリービデオシリーズ『新図書館の達人』全6巻, 紀伊国屋書店, 1998.3, 2002.11.
- ・ライブラリービデオシリーズ『情報の達人』DVD 版全3巻, 紀伊国屋書店, 2007.2.28. (ビデオ・スライド・テキストのパッケージ)

◎最近の講演・発表等 2004

- ・日本図書館協会フライデーナイトセミナー第1回「図書館員のための指導サービス実践講座【パート2】－プレゼンテーションの実演と討論－」2004.2.20 日本図書館協会
- ・鶴見大学 T.U.L.A.(Tsurumi University Librarians Association) 研修会 講演「図書館員のための利用指導サービスのポイント－プレゼンテーションの実演と討論－」2004.7.10. 鶴見大学図書館AVホール
- ・東北地区図書館協議会合同研修会「大学図書館における利用者教育と利用促進」基調講演「利用指導サービスと広報戦略－専門性を訴求する取り組みのポイント－」2004.7.30 岩手大学情報メディアセンター図書館
- ・私立短期大学図書館協議会全国研修会: 講義と演習「指導サービスの組織化と指導プログラム・教材の作成」2004.8.26-27,

北海道武蔵女子短期大学

- ・群馬県大学図書館協議会 大学図書館研究会:講演「パスファインダー超簡単作成法ー日常業務の中で作るための7つのステップ」2004.9.8, 放送大学群馬学習センター
- ・埼玉高校図書館研究会 司書部会研究集会:講演「情報メディアの活用をどう支援するかー学校図書館司書による指導サービスのポイントー」 2004.11.24, さいたま文学館(桶川市)

2005

- ・2005.1.20/1.28: NII 学術情報リテラシー教育担当者研修:講演「学術情報リテラシー教育における広報戦略」大阪大学/国立情報学研究所
- ・2005.5.27: 日本図書館協会フライデーナイトセミナー第5回:講演「情報検索指導における良い例題・悪い例題ー素材を集め問題を作り要点を説明する方法ー」日本図書館協会
- ・2005.10.10: はんのう学校図書館まつり特別講義「図書館で情報の世界への窓を開けるーポスターからパスファインダーまでー」駿河台大学
- ・2005.11.1/11.17: 学術情報リテラシー教育担当者研修「学術情報リテラシー教育における広報戦略」国立情報学研究所/大阪大学
- ・2005.11.15: 医学図書館研究会・継続教育コース「新しいオリエンテーション技法ー利用者をひきつける構成と演出」東京歯科大学
- ・2005.11.17: 近畿地区医図協・薬図協・病図協共催シンポジウム「利用者教育におけるプレゼンテーションの実際」@大阪大学
- ・2005.12.7: 文部科学省東海北陸地区図書館地区別研修「情報活用支援サービスの最新技法」福井県立図書館

2006

- ・2006.03.18: 日本図書館協会図書館利用教育委員会図書館利用教育実践セミナー「情報検索指導における良い例題・悪い例題(初級編)ー素材を集め問題を作り要点を説明する方法ー」キャンパスプラザ京都
- ・2006.10.14: 紀伊國屋書店・日本アスペクトコア 業務スタッフ研修「図書館広報革命ー第一印象はオリエンテーションで決まるー」紀伊國屋書店本社会議室
- ・2006.11.16: 兵庫県大学図書館協議会「図書館広報を再設計するー専門職として生き残るための5つの特効薬ー」兵庫県立大学
- ・2006.11.22: 図書館総合展フォーラム講演会「情報検索指導における良い例題・悪い例題(中級編)ー専門分野別データベースの特徴を紹介する方法ー」(日本図書館協会主催)パシフィコ横浜

2007

- ・2007.03.31-[発表] 日本図書館情報学会春季研究集会「図書館利用者プロフィールの再検討ー情報探索支援システム設計のための概念モデルー」大阪市立大学梅田サテライト
- ・2007.06.01-[講演] 専門図書館協議会全国研究集会「ライブラリアンのための広報戦略マニュアルー専門性を訴求する5つのポイントー」科学未来館
- ・2007.07.10-[講習会] 私立大学図書館協会東地区部会研究部企画広報研究分科会図書館広報実践講座パート1「パスファインダーをつくる!」国立情報学研究所
- ・2007.08.24-[講演] 私立大学図書館協会西地区部会九州地区協議会研究会「情報リテラシー教材が図書館を変えるー『情報の達人』が切り拓いたものー」熊本学園大学
- ・2007.09.21-[講演]岐阜県図書館・岐阜大学図書館講習会「パスファインダーを作る(入門編)」岐阜県図書館
- ・2007.10.18-[講演]専門図書館協議会関西地区協議会イブニングセミナー「ライブラリアンのための広報戦略マニュアルー専門性を訴求する5つのポイントー」大阪商工会議所
- ・2007.11.08-[講演]図書館総合展フォーラム講演会「図書館グッズが利用者と館員を変える!ーイメージ戦略の先進事例ー」(埼玉福祉会主催), パシフィコ横浜: 10:30~12:00 第3会場
- ・2007.11.08-[講演]図書館総合展フォーラム講演会「情報検索指導における良い例題・悪い例題(応用編)ーデータベースの特徴をどう紹介するかー」(日本図書館協会主催), パシフィコ横浜 15:30-17:00 第5会場
- ・2007.11.21-[講演]大学図書館近畿イニシアティブ中級研修「大学図書館における広報戦略と情報発信ーホームページ、広報誌、利用案内・・・あなたの図書館は大丈夫ですか?ー」大阪市立大学学術情報総合センター
- ・2007.12.04-[講演] 私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会研究会「デジタルリソースのフル活用へ向けてー講習会の刷新とオンデマンド教材の開発ー」名古屋ガーデンパレス

2008

- ・2008.02.06-[講演]千葉県立中央図書館平成19年度レファレンス研修会(レファレンスサービス専門研修)「パスファインダー超簡単講座ー新しい案内ツールをどう作るかー」千葉県総合教育センター
- ・2008.03.01-[講演]三島市立図書館平成19年度図書館講座「目からウロコの《超簡単》情報活用講座ー一人に伝える・人と繋がる・人と学ぶー」三島市立図書館
- ・2008.03.16-[講演]日本図書館協会 図書館利用教育実践セミナー(第11回)「利用者はなぜ論文検索ができないのかー躓かせないための4つの指導ポイントー」キャンパスプラザ京都

*講演予定(一部未定)

- ・TRCライブラリー・アカデミー
- ・三重県司書研修
- ・私立大学図書館協会東海地区研修会

以上■□■(配付資料/2008.3.8作成/3.17事後修正)